

群馬工場見学会のお知らせ

日常生活では目にすることのない、車体骨格部品の製造工程をご覧ください。3,000t大型プレス機や、多数のロボットを駆使した溶接ラインの見学を通し、当社の生産性と収益性の高さをご理解いただける内容となっております。

開催概要

見 学 場 所：群馬工場(群馬県太田市)

集合・解散：JR熊谷駅 改札口(バスにて送迎いたします。)
※お車等での直接のご来場はご遠慮ください。

開 催 日 程：2022年10月4日(火) 13:00集合(予定)

内 容：概要説明の後、徒歩にて構内をご見学いただきます。

対 象 者：2022年3月末時点の当社株主様

募 集 人 数：20名程度

参 加 費：無料(ただし、集合・解散場所までの交通費や宿泊費等は各自ご負担ください。)



応募要領

応 募 方 法：同封の「株主様アンケート」に記載の「工場見学会へ出席をご希望される株主様」の欄に必要な事項をご記入の上、ご返送ください。

応 募 締 切：2022年7月31日消印有効

当 選 発 表：応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。当見学にお越しいただくことが確定した株主様へは、別途詳細をご案内申し上げます。

※ご応募により当社が取得する個人情報、本工場見学会実施のほか議決権行使に関するご案内や、株主様向けの活動充実のために使用させていただく場合がございます。

お問い合わせ先

株式会社ジーテクト 工場見学会係
電話番号 048-646-3404
9:00～17:00(土、日、当社休日を除く)

前回の工場見学会のご報告

2022年6月1日(水)、ホンダ様向け主力工場の埼玉工場にて、19名の株主様にご参加いただき、2年半ぶりに工場見学会を行いました。AIや画像処理技術などを採用した新型ステップワゴンの生産ラインを中心に見学しました。

●参加された皆さまの声(抜粋)●

- ▶日本のものづくり現場を体感できました。テレビや雑誌で見るのと比べ、実物を間近で見るとやはり違うなと思いました。
- ▶AIやカメラが活用されており、生産技術の進歩に驚きました。
- ▶工場がとてもきれいで、安全に働かれていると感じました。 他多数



3,000t大型プレス機



自動精度測定ライン

ご来場誠にありがとうございました。

株式会社ジーテクト

本社 〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-11-20



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



第11期 株主通信

2021年4月1日～2022年3月31日

株式会社ジーテクト

証券コード：5970



代表取締役社長
高尾 直宏

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

世界経済は、経済活動の持ち直しによりグローバルに景気回復が進んだ一方、インフレの高進、米国の金融政策引き締めやウクライナ侵攻の影響等、先行き不透明な状況が続いています。自動車業界は、世界的な需要回復により生産販売活動が持ち直しましたが、半導体等の部品供給不足により主要得意先において一時生産停止や生産調整が発生しました。

当社では、コロナ禍からの回復に加え、各地での新規受注の量産や他社販売により売上高が拡大し、当連結会計年度の売上高は2,365億円(前期比12.9%増)、営業利益は109億

円(同35.8%増)となりました。経常利益は125億円(同44.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は89億円(同35.9%増)となりました。

2023年3月期は、半導体供給に関するリスクなど足元の不安定要素があるものの、新規受注の増加や米国子会社の抜本的な経営改革など更なる体質改善を強力に進めることにより、連結売上高は3,140億円(前期比32.8%増)、営業利益は131億円(同19.8%増)、経常利益は136億円(同8.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は97億円(同9.3%増)を見込んでいます。

自動車産業の大変革期にあり、EVシフトが加速する今、当社がこれまで70年の歴史で培ってきた確かな経験と実績を活かしながら、時流を先読みし成長を続けています。当社の中核事業である車体骨格部品に加えて、EVの専用部品領域である電動パワートレインに搭載されるモーターコアやバッテリーハウジングについて早期の事業化を目指しております。モーターコアについては、2022年末までに社内に実証ラインを設置します。そこで、量産を想定した検証と競争力ある独自技術の開発を行っていきます。また、車体全体の最適構造を追求した当社独自の車体一台開発提案力を土台に、アッパーボディ、そしてバッテリーハウジングを含めたアンダーボディまで、EV専用の補強部品や軽量化素材への置き換えなど、EVとして最適な車体を提案してまいります。このEV関連事業においては、他社との技術交流等を通じながら、今後10年で700億円の研究開発費・設備投資を行い、既存事業に加えて売上高1,000億円以上の事業規模を目指します。

当社は気候変動問題への対応として「2050年度のCO₂排

出量実質ゼロ」を宣言し、生産現場での省エネルギー化の取り組みのほか、再生可能エネルギー由来の電力への切り替えを進めています。日本では東日本エリアの工場と自社所有事業所で再エネ由来の電力に移行が完了しました。海外拠点は各地域の特性を考慮しながら推進し、当社グループ全体でカーボンニュートラルを目指します。

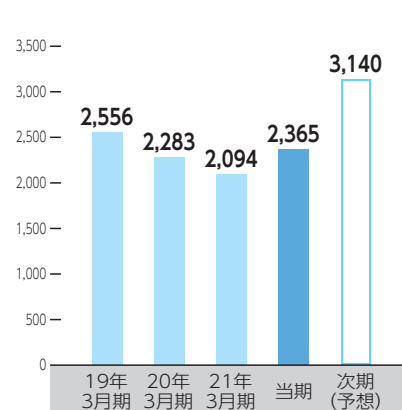
2022年3月期の期末配当金は、ジーテクト発足10周年の記念配当を含めて期初予想通りの28円となりました。年間では中間配当金28円と合わせ、前期比6円増配の56円とな

りました。今後も長期・安定的に株主還元を実施することを基本方針とし、次期は中間・期末配当金共に1株につき29円、年間で2円増配して58円を予定しており、13期連続増配を目指します。

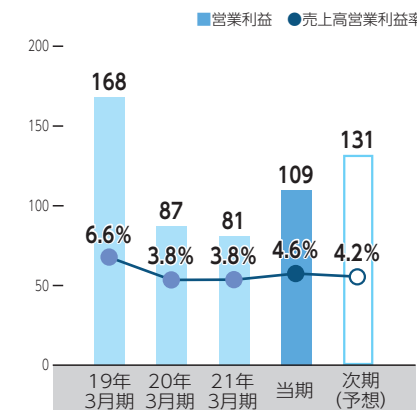
今後も厳しい経営環境が続きますが、攻めの姿勢とスピード感をもって力強く舵取りを行ってまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2022年6月

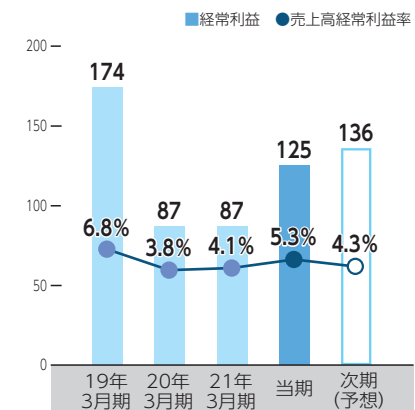
売上高 (億円)



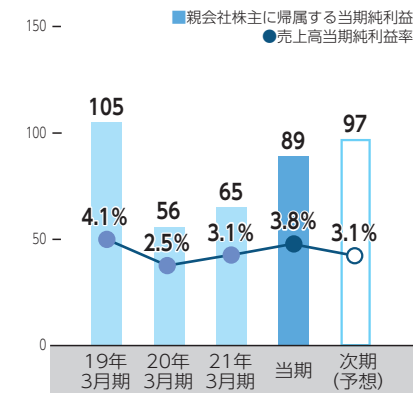
営業利益／売上高営業利益率 (億円)



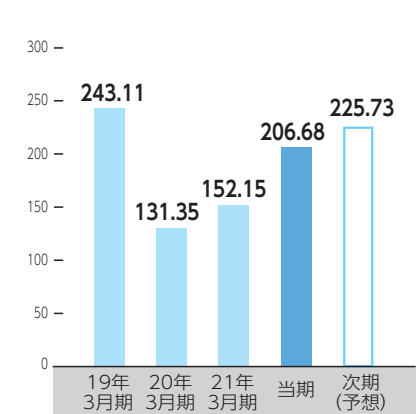
経常利益／売上高経常利益率 (億円)



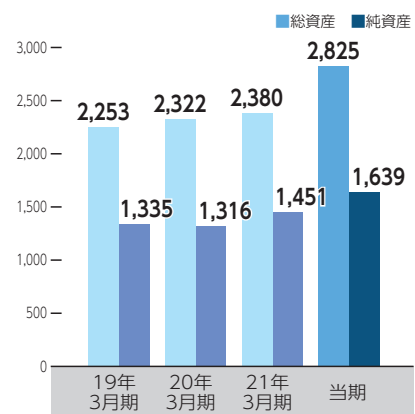
親会社株主に帰属する当期純利益／売上高当期純利益率 (億円)



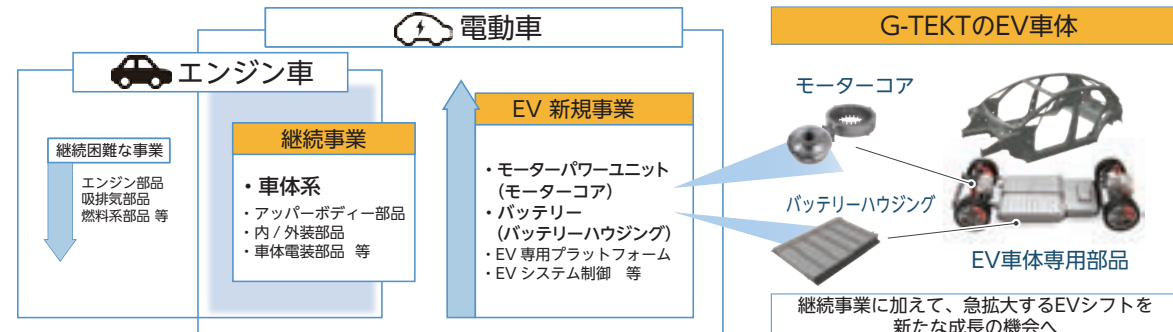
1株当たり当期純利益 (円)



総資産 純資産 (億円)



電動化による市場変化と、ジーテクトのEV事業領域



EV関連事業加速のため販売体制を強化

EV市場が急拡大する中国、アメリカ、ドイツにおいて、EV関連事業を確実に成長させていくため、販売体制を再編・強化しました。既存のリサーチ拠点を、開発機能を有する営業開発拠点に進化させ、各地域における販売力向上を目的としています。

北米では、北米主力メーカーが集積するデトロイトに拠点を置きました。日欧で確立したEV関連技術を各メーカーへ提案し、EV事業を開拓していきます。中国では上海リサーチ拠点を法人化し、営業開発機能を持たせました。中国で急速に拡大し、日々変化するEV需要を

的確に捉え、スピーディな提案営業に繋がります。

それらを支える人材は、ナショナルスタッフの採用に加え、欧・米・中の海外語学研修を終え、技術と開発分野で経験を積んだ若手技術者を各社に派遣しました。現地の客先と直接コミュニケーションをとり、タイムリーに結果を出せる体制を構築しています。

日本のジーテクト東京ラボと各拠点同士が繋がり、カーメーカーごとのニーズや戦略を共有することで、最適な技術提案と地域戦略の両立を図っていきます。

販売体制強化

海外で新たなEV事業を開拓する
販売力

市場ニーズにスピーディな提案ができる
商品開発力

セールス&エンジニアリング機能の強化



群馬工場 拡張工事完了

群馬工場（群馬県太田市）ではSUBARU様の主力車種であるレヴォーグや、インプレッサ、フォレスター、BRZ、レガシィなど向けに車体部品を生産しています。この度、SUBARU様向け新規受注に伴う生産能力増強を目的とした工場拡張工事が、2022年5月に完了しました。

拡張部には、更なる信頼性向上と人に優しい工場づくりを目的とし、インラインでの自動精度検査や自動溶着保証など、最新の設備を備えた溶接ラインを導入します。将来的にはSUBARU様が同県内に新設されるEV専用工場の需要も取り込んでいきます。同エリアの屋根部には太陽光パネルを増設し、電気の自家消費量を拡大する計画で、脱炭素化も推進していきます。



群馬工場
建屋拡張部

建屋拡張面積：1,200坪
設備投資額：17億円
(建屋9億、溶接ライン8億円)
売上高増加額：18億円

地球環境への対応 再生可能エネルギー100%へ

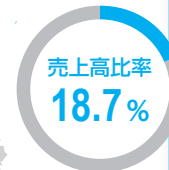
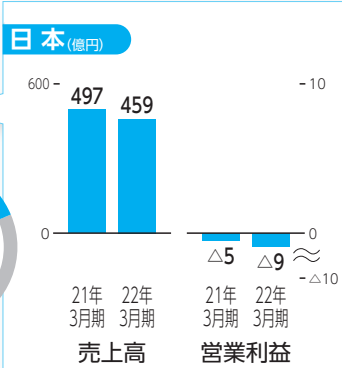
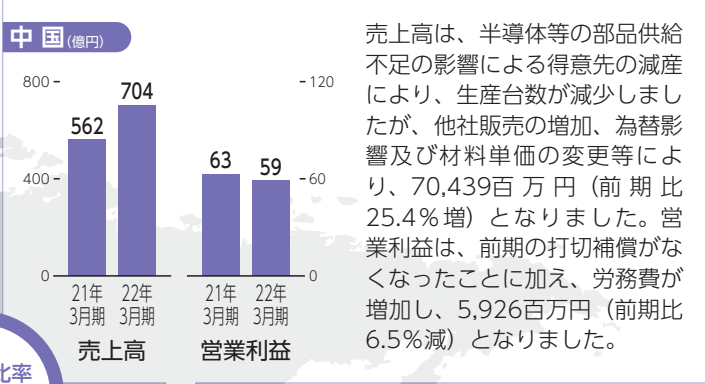
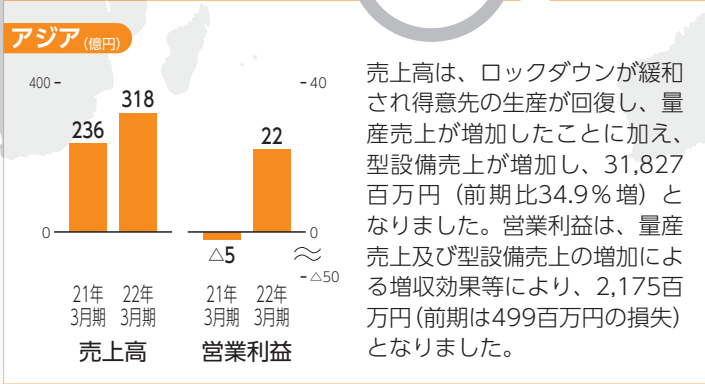
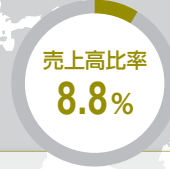
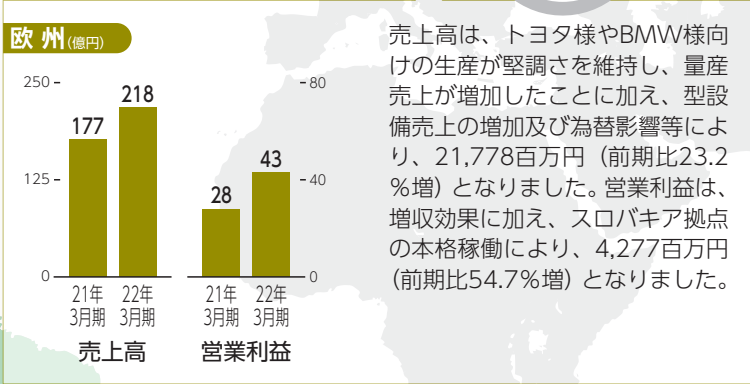
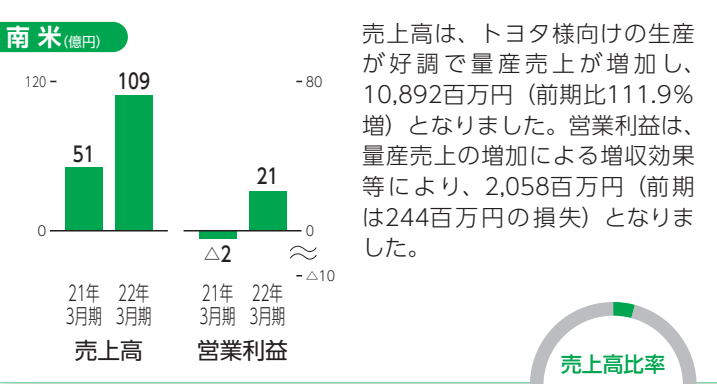
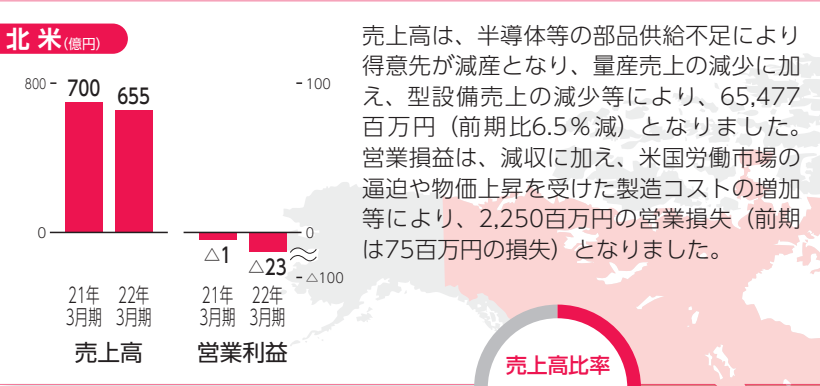
当社は地球環境への対応のため、代表取締役社長をトップとしたGreen Transformation(GX)プロジェクトを立ち上げ推進しています。

当社の生産活動時(Scope1+2)における温室効果ガス排出量は、電力使用に伴うCO₂が90%を占めており、この排出量を削減することが効果的であり急務です。2022年4月には、東日本エリアの工場と自社所有事業所にて、再生可能エネルギー由来の電力への購入切り替えが完了しました。西日本エリアも順次切り替えを行い、国内全拠点で再エネ100%とする予定です。

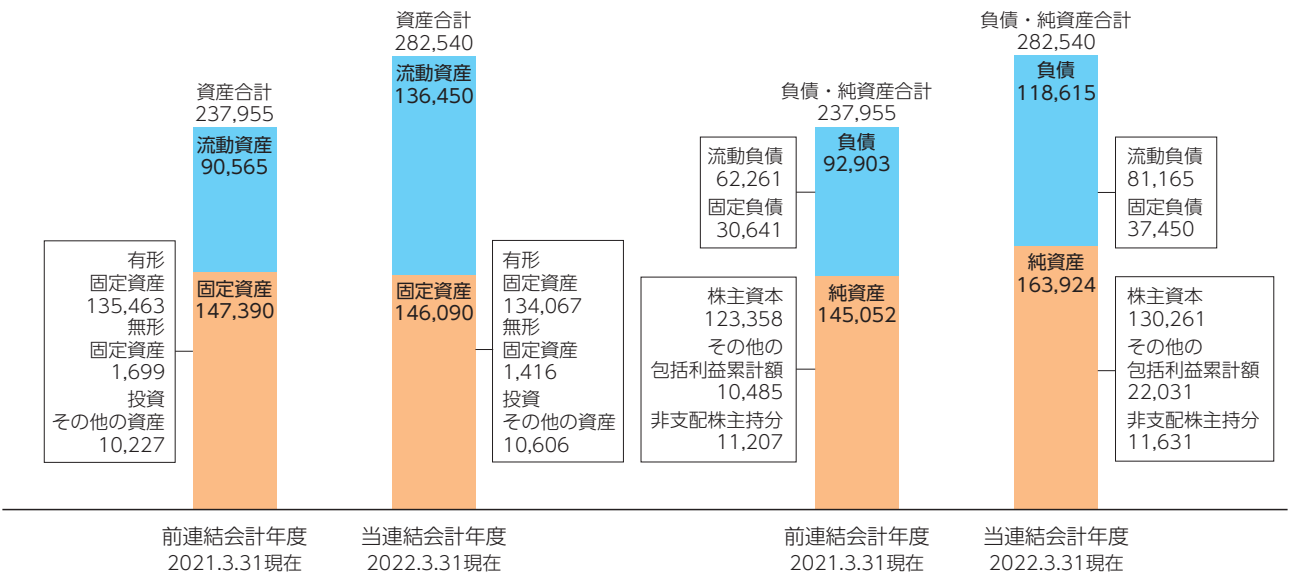
海外拠点では、国別の電源構成が、水力などの再エネ比率が高いカナダやブラジルもある一方で、化石燃料比率の高い中国、インド、インドネシア等もあり、

地域別特性を鑑みて優先度を付け、順次切り替えを行っていきます。

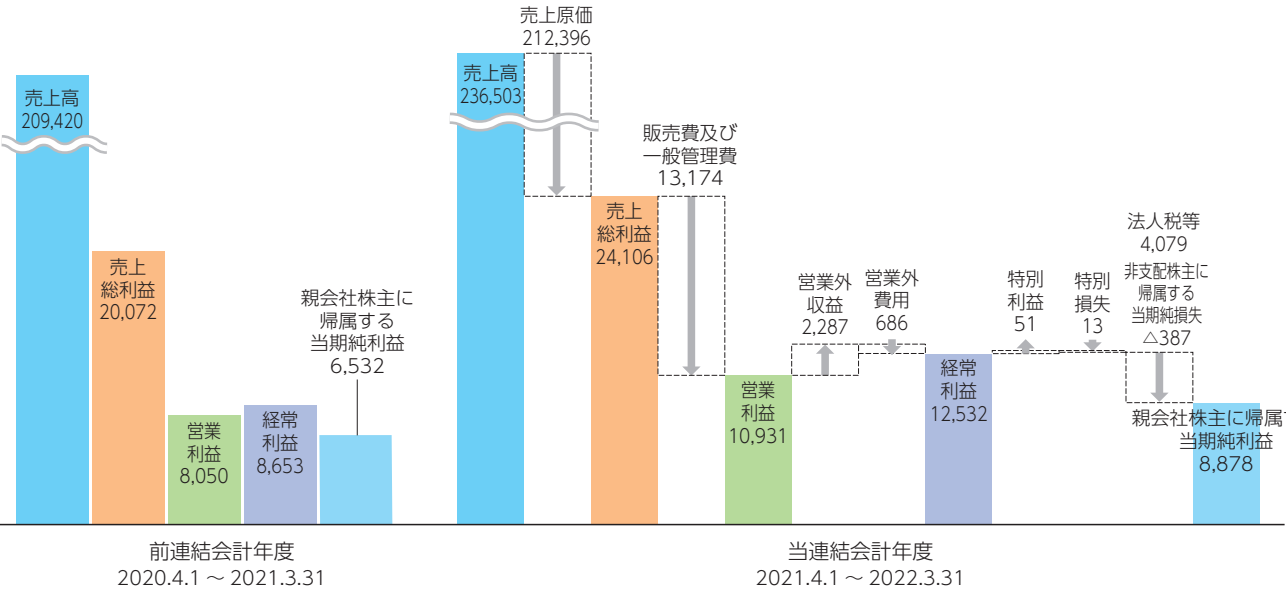




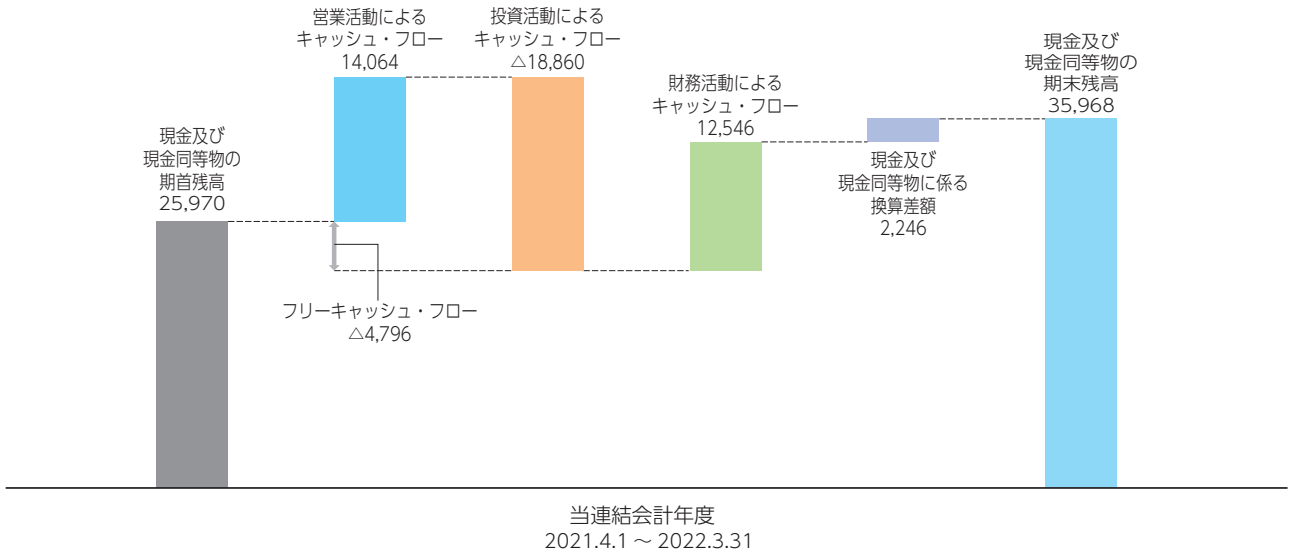
連結貸借対照表（要旨）（百万円）



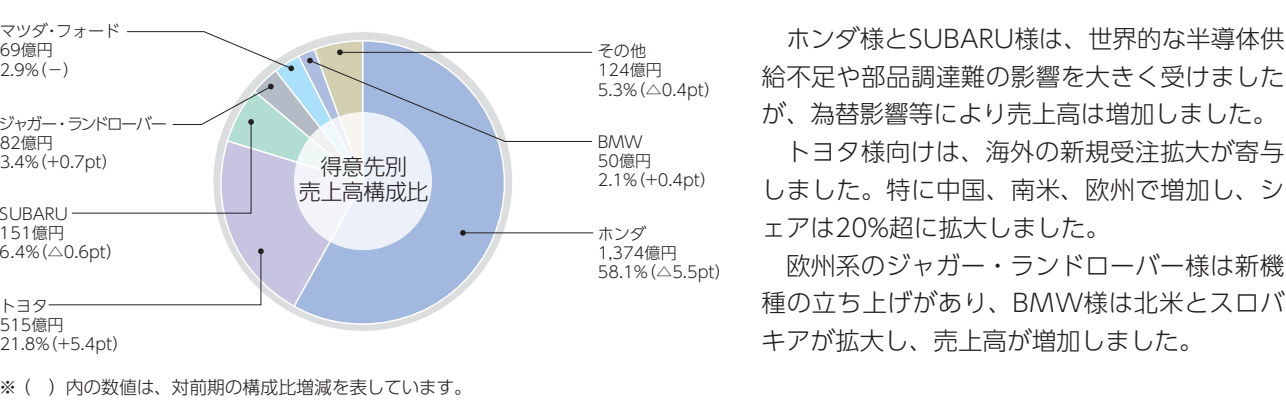
連結損益計算書（要旨）（百万円）



連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）（百万円）



得意先別売上高構成比



ホンダ様とSUBARU様は、世界的な半導体供給不足や部品調達難の影響を大きく受けましたが、為替影響等により売上高は増加しました。

トヨタ様向けは、海外の新規受注拡大が寄与しました。特に中国、南米、欧州で増加し、シェアは20%超に拡大しました。

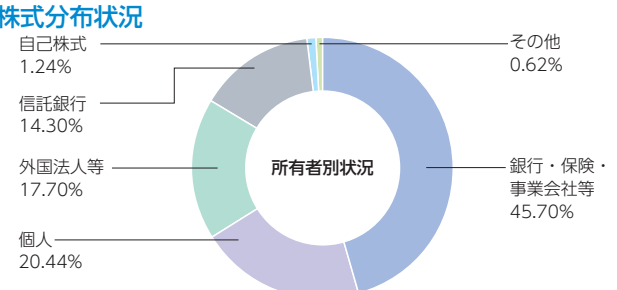
欧州系のジャガー・ランドローバー様は新機種の立ち上げがあり、BMW様は北米とスロバキアが拡大し、売上高が増加しました。

会 社 概 要 (2022年4月1日現在)	
■ 社 名	株式会社ジーテクト
■ 創 業	1947年4月1日
■ 設 立	1953年11月4日
■ 資 本 金	4,656,227,715円
■ 代表取締役社長	高尾 直宏
■ 事 業 内 容	車体部品、トランスミッション部品の製造販売、金型・溶接設備等の製作販売
■ 拠 点	国内10拠点、アメリカ5拠点、カナダ1拠点、メキシコ2拠点、ブラジル1拠点、イギリス4拠点、ドイツ1拠点、スロバキア1拠点、中国6拠点、インド1拠点、タイ4拠点、インドネシア1拠点

取 締 役 及 び 監 査 役 (2022年6月24日現在)	
代表取締役社長 社長執行役員	高 尾 直 宏
取 締 役 専 務 執 行 役 員	吉 沢 勲 事業管理本部長、コンプライアンスオフィサー
取 締 役 常 務 執 行 役 員	瀬 古 浩 技術本部長
取 締 役 常 務 執 行 役 員	廣 瀧 文 彦 営業本部長
社 外 取 締 役	大 胡 誠 弁護士
社 外 取 締 役	笠 松 啓 二
社 外 取 締 役	稲 葉 利江子 津田塾大学教授

常 勤 監 査 役	田 村 依 雄
常 勤 監 査 役	川久保 喜 章
社 外 監 査 役	新 澤 靖 則 税理士
社 外 監 査 役	北 村 康 央 弁護士

株 式 の 状 況 (2022年3月31日現在)	
発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数	43,931,260株
株主数	15,055名



大株主 (上位10名 敬称略)		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
本田技研工業株式会社	13,035,098	30.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,466,500	7.99
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR：FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	2,918,382	6.73
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,262,784	5.22
菊池俊嗣	2,225,901	5.13
株式会社ケー・ピー	2,200,800	5.07
TKホールディングス株式会社	2,194,344	5.06
高尾直宏	1,286,576	2.97
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	802,755	1.85
RE FUND 107-CLIENT AC	672,300	1.55

(注)持株比率は、自己株式545,124株を控除して計算しております。

株主メモ	
事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL.0120-232-711 (通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所(プライム市場)
公 告 の 方 法	当会社の公告は、電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

「株主様アンケート」

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

前回実施のアンケートに、1,253枚(回収率10.6%)のご回答をいただきました。お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。

(調査期間 2021年12月3日～2022年1月7日)

236名の株主様から「ご意見・ご感想」をいただきました。全件を3月25日の取締役会に報告し、配当政策やEV関連事業について議論を行いました。

皆様からの主なご意見・ご感想

【株価・業績・配当・優待について】

- 株価、配当上昇に向け(業績向上)頑張ってください。
- 長期保有株主にメリットがある優待に好感が持てます。

【情報発信について】

- 早期のDXへの取り組みや健康経営への意識を株主通信で知ることができ、ますます応援したくなりました。
- 競争力や戦略についてわかりやすく社外にも発信する機会(Web説明会など)があれば、ありがたいです。

【その他】

- 6月に工場見学会を再開できて良かったです。今後も、工場見学や研究施設の見学会を実施してほしいです。

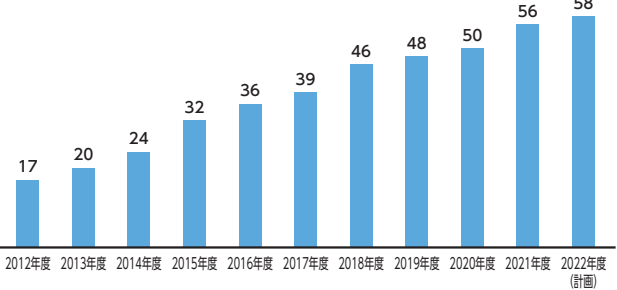
株 主 還 元

10周年記念配当の実施

2022年3月期は、ジーテクト発足10周年の記念配当を実施しました。中間・期末配当金共に1株当たり28円とし、年間では、前期比6円増配の1株当たり56円といたしました。

2023年3月期は、中間・期末配当金共に1株当たり29円とし、通期で58円を予定しております。

1株当たり年間配当金 (円)



※2014年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を実施しているため、2012年度から2013年度までの1株当たり配当金は株式分割考慮後の数値を記載しています。

株主優待

株主様の当社株式の保有状況を考慮し、長期間、また、より多くの株式を継続的に保有していただいている株主様のご支援に応えるため、継続保有期間に応じて、最大4,000円相当のクオカードを贈呈いたします。

保有株式数 継続保有期間	100株以上 500株未満	500株以上
	1,000円相当の クオカード	2,000円相当の クオカード
1年以上2年未満	1,000円相当の クオカード	2,000円相当の クオカード
2年以上3年未満	2,000円相当の クオカード	3,000円相当の クオカード
3年以上	3,000円相当の クオカード	4,000円相当の クオカード